

なきごえ



1975

8

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

実吉達郎

動物といったってお前の専門は何なんだ、ときかされると、かえって困る。キャッチ・フレーズ的に「アバトサウルスからトリパノゾーマまで」と答えたこともあるが、冗談ととられず大風呂敷と思われる方が多いので、やめてしまった。中には、「哺乳類・鳥類・爬虫類・昆虫・甲殻類・魚類・腔腸動物からプランクトンまで熱愛するはずがない、もしあれば、貴様は異常・変態だ」とまで言われたことがある。

ところがその通りなのだから仕方がない、私は家畜、愛玩動物であろうと、捕食獣、化石動物であろうと、微生物から空想上の動物にいたるまで、すべて愛している。むろん、その愛には差はある。ハムスターは好きだが熱帯魚はそれほどでもなく、サルは愛するがチンパンジーはあまり好まず、古生物学は酷愛するが分子生物学は苦手の方だということに、ちがいはあるが、興味が持てない、研究してみる気になれない、という種類・部門は一つもない。

少年のころ、昆虫採集からこの世界へ入った。旧制さいごの学生として大学へ入ったとき、主に小動物の飼育・分類・生態に関心を持っていた。専攻は中小家畜学を選んだが、さいしょ就職したのは宮内庁下総御料牧場であり、牛、ニワトリ、ブタ、ヒツジなどを手がけた。のち野毛山動物園に勤務し、休日交代制で、自分の係りでないライオン、トラ、ゾウ、キリン、サル、レイヨウ、クマ、オオカミなども手がけたが、係りはウサギ、ヤギシカ、キンケイ、ハッカ、コンゴウインコ、オシドリ、カモメなどの草食獣と鳥類であった。ここに五年勤めたのち、移民船でブラジルへ渡って、七年暮した。職業は養鶏場の飼育員が一年半、あとは日本人学校の教師をしながら昆虫採集に熱中し、あらゆる動物を飼ったり、野外観察に耽った。

このとき研究した動物は スマジカ、ミツユビナマケモノ、ノドジロオマキザル、ヨウモウザル、オオコウモリ、ハナグマ、クロコンドル、オオハシカッコウ、タイランチョウ、ブルー・アカラ、ミナミオポッサム、タウナギ、テグー、アシナシトカゲ、タイラ、オセロットなどが主なものであった。さい

ごにアマゾンニアへまわって採集旅行を楽しみ、七年ぶりに南アフリカまわりで帰国した。

このへんまでが、私の独身時代のすばらしき青春であって、帰国後はサラリーマンになった。とはいえ、私のことだから、就職先はドリームランドで、ロバ、ラクダ、ポニーの調教係りであったが、とうてい観光会社員でおさまらうる私ではなかった。就職の目的であったおそい結婚を果たすと、一年以内でそこを飛びだし、「動物ライター」という前人未踏の馬鹿か狂人のような稼業に入った。

元来私は動物文学协会会员であり、「シートンだけでいいなら苦労はしない」という道に志す男の一人だった。だが、小説・ルポ・雑文・研究・ノンフィクションのいづれにもせよ、そのすべてを兼ねるのにせよ、動物テーマの物書きで飯が食えるような、甘い世の中ではない。なかんづく文学・小説が一ばん食えない。動物愛好者、動物で世を渡りたい人は実は何万人もありながら、この道へ入る人が少いのはそのためだ。彼らはみな賢明なのである。私のような馬鹿・狂人（食えないとわかっていながら、その道へ入らずにいられないほど動物と文学に感嘆しているという意味である）とはちがうのだ。だから、決して私はだれにもこの道はおすすめしない。

少数の「弟子」を育てたり、飼育書を書いた結果、毎日のように来る質問に答えたり、家の近くの山林をあらし、狩猟に来る奴と喧嘩をしたり、捕鯨禁止運動に参加したり、というわずかなこと以外は「行動」ということに欠けているのが私の反省の種である。その他では動物テーマにものを書くことが本業で、収入源だという「本邦唯一」の職業に徹して、一つ死ぬまでやって見るつもりだ。(動物ライター)



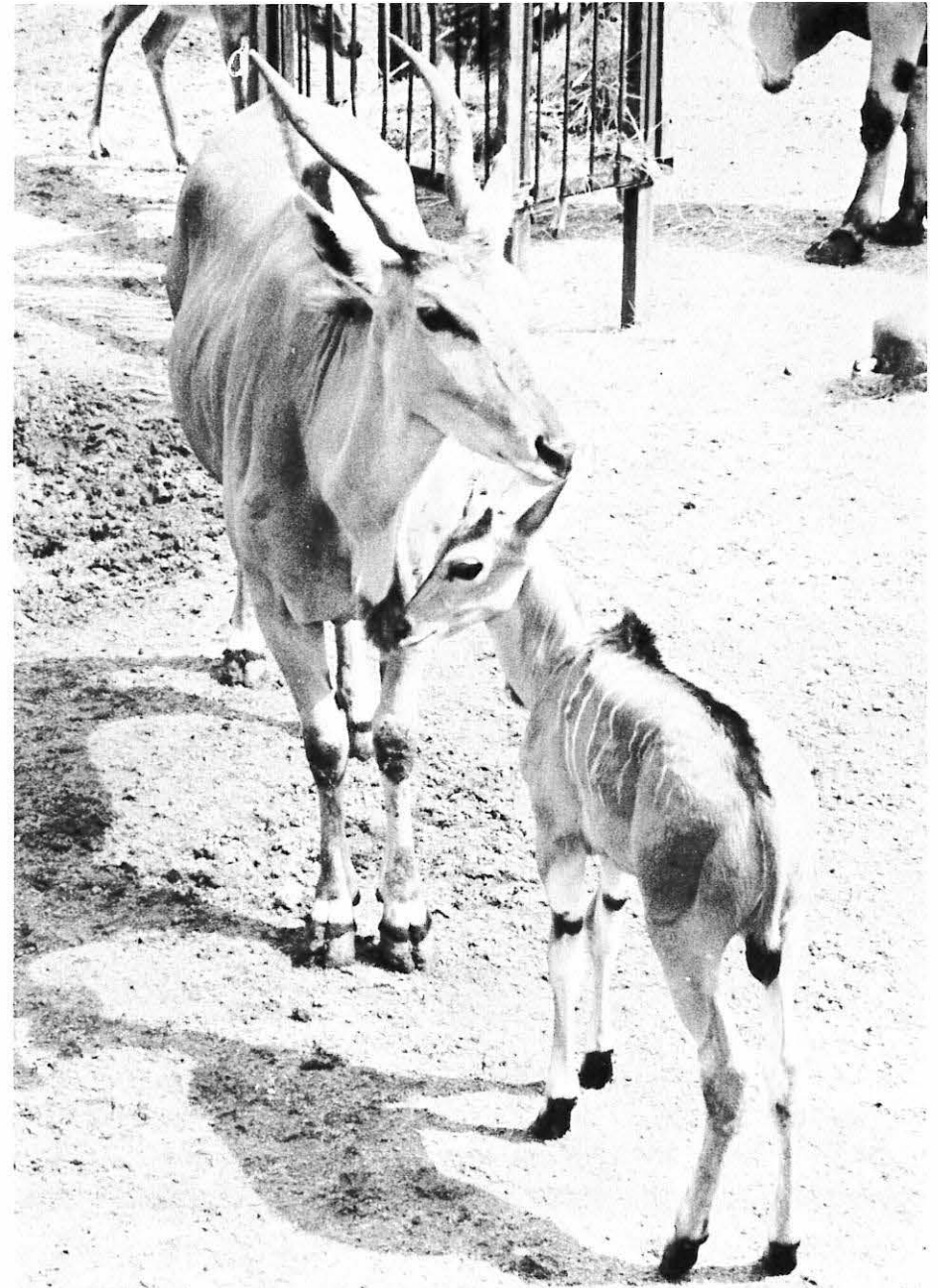
なきごえ7月号もくじ

動物と私	2
エランドの赤ちゃん	3
動物園グラフ	4・5
動物相談余話	6
動物のスピード比べ	7
天王寺のどうぶつたち(7)	8・9
獣医室から③	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“セアカリスザル”

中央、南アメリカに分布するかわいいサルで、日本でもよくペットとして飼われています。6月30日にオス1頭の寄贈があり、前から居るメスと番いにしました。



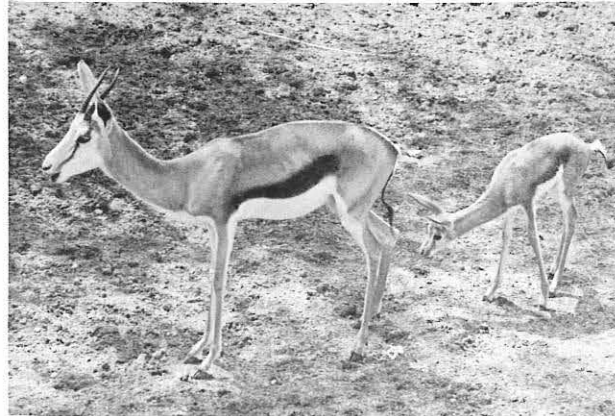
“エランドの赤ちゃん”

6月9日に生まれました。母親はこれが3度目のお産です。広いカモシカ園を元気よくかけ回っています。

動物園グラフ

“赤ちゃん誕生” Part III

7月号のグラフに引き続き今月号も赤ちゃん誕生をグラフに特集してみました。



↑スプリングボック

昨年の2頭に続いて今年も又、2頭誕生しました。母親の後ろについてカモシカ園をかけ回っています。(7月5日・6日誕生)



↑エゾシカ

今年は4頭生まれました。母親は自分の仔以外の仔のめんどうもよくみえています。(6月8日2頭・6月13日・19日誕生)



↑ハナシカ

エゾシカより1回り小さく白い斑点が明瞭です。今年は5頭生まれました。



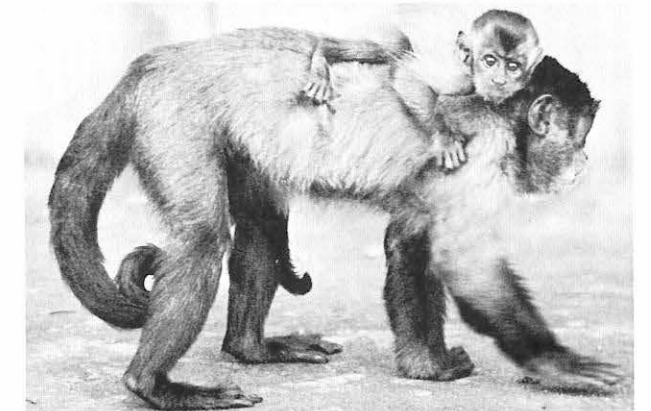
↑マゼランガン

6月9日に人工でふ化しました。人に非常によくなっています。



↑アグーチ

昨年同様、今年も2頭誕生しました。(6月24日誕生)



↑フサオマキザル

当園では初めての出産です。母親の背中にしっかりしがみついています。(6月7日誕生)

6・7月の動物園日記

- 6/22. アシカが1頭生まれました。これで今年3頭目の誕生です。
ゴリラのオスが下痢気味なので治療しています。
23. リカオンのオスが食欲不振で研究室に収容して治療していましたが死亡しました。死因は肝臓がんです。
24. アグーチが2頭生まれました。
26. キューバフラミンゴが1羽ふ化しました。
28. ハナシカが1頭生まれました。

キューバフラミンゴが1羽ふ化しました。

30. チリーフラミンゴが1羽ふ化しました。これで今年7羽のフラミンゴが誕生しました。
リスザル(オス)1頭の寄付がありました。
7/2. カモハクチョウのメスが豪雨にたたられたのか肺炎で死亡しました。
3. ハナシカが1頭生まれました。
4. チンパンジーのナツコが急死しました。
5. スプリングボックが1頭生まれました。
6. 昨日に続いてスプリングボックがもう1頭生まれ

ました。

- ハナシカが1頭生まれました。
7. ヒョウが脱走するという大騒動がありました。3時間後に檻に収容しました。
クロヒョウが1頭生まれました。
8. ヒグマが交尾しました。
ヤギのひづめが伸び過ぎて歩きにくそうなので削蹄してやりました。
9. 1昨日生まれたクロヒョウの仔は惜しくも死亡しました。

11. 昨年生まれたアシカが鼻水をだして少々カゼ気味なので治療しています。
14. トムソンガゼルが角が折れ曲がって皮ふにくいこんでしまいましたので断角しました。
15. 今年生まれたアシカの仔の体重測定をしました。マレーバクのオス(1才半)が1頭入園しました。
18. ソウシチョウ1羽の寄付がありました。
22. モウコレイヨウのオスが右前肢をどこかにぶつけたらしく、少しびっこをひいているので治療しています。

動物相談余話

動物園の飼育課に動物の飼い方や病気の相談、動物の寄付で訪れる人が多いのですが、時には迷信？を信じて真顔でいろいろなものを無心に訪れる人があります。以下その効用の真偽のほどは分かりませんが、思い出すま、お話ししましょう。

☆ **山羊の乳** 1年ばかり前、まだ1才ばかりの乳児をおぶった若い母親がやってきて山羊の乳をいただけないと懇願されたことがあった。その乳児は生まれたときから頭に水のたまる病気（水頭症）で、医者にもかかっているが山羊の乳を飲ませるとよいと聞いたので、あちこちさがしているのですが、山羊を飼っているところはおいそれとはないので、わらをもつかむ思いでやってきたので、なんとかしてほしいとのことであった。みるとたしかに赤ちゃんは福助さんのように大きな頭をしてあえいでいたし、子を思う母親の心情にほだされてしまいました。ちょうど、山羊の子が生まれていたときでしたから、山羊の赤ちゃんの飲んだあとはあまり希望どおりの量が確保できませんでしたがあげることにしました。その後数回水筒をもって園を訪れてきました。その効果がどうなったのか私たちも忘れてしまいましたが、1年ほどたって大きくなった赤ちゃんを抱いた母親がやってきて、おかげさまでこんなに元気になりましたと、礼を云いに来てくれました。もちろん、手術も受けて頭から胃にパイプを入れているのですが、以前よりずっと健康そうでした。

☆ **黒チャボの卵** 黒チャボを飼っていませんかといってくる人がときどきありました。黒チャボの卵が何でもそこひ（眼病）にきくとのこと。黒チャボのめすは少ならしく園にもいなくて、日本鶏保存会や、各地の日本鶏の愛好者にも照会したことがありました。

☆ **トラの糞** トラの糞をくれないかという人がありました。トラの糞でも、特に食べた動物の骨の混ったものがよいらしく、糞の中の骨片をとり出して焼き、その灰を酒の中に入れて飲ませると酒が嫌いになるというのです。聞いてみると、夫が酒乱で困

るので、何とか酒をやめさせたいと必死なのです。トラの糞は、また、これを乾燥させて、ドブ酒と一緒に飲むと痰切りになるというのです。知らずに飲まされる人はどんな顔をするでしょう。

☆ **ツルの糞** これもかなり多かったと思います。これはまた、断酒にきくとかで、頼みに来られるのは、たいがい老婦人が多いようです。

☆ **馬の糞** 最近だったのですが、これもおばさんがやってきて、馬の糞が欲しいとのこと。どうも市内では動物園にしか馬のいるところが思いつかないとのこと。当園には、トカラウマやキソウマ、シマウマもいるのでいくらでもどうぞということでお話ししたら喜んでくれました。何でも、馬の糞を温めて肛門にあてると、痔にきくのだそうです。

☆ **ライオンの糞** 糞の話ばかりで恐縮ですが、これは何でも、野犬が庭に侵入して困るというので、ライオンの糞を侵入するらしいところに置いておくと、野犬もいやがってよりつかないだろうというのです。百獣の王、といわれるライオンは、さすがに糞まで威厳があるものかなあと感心した次第です。

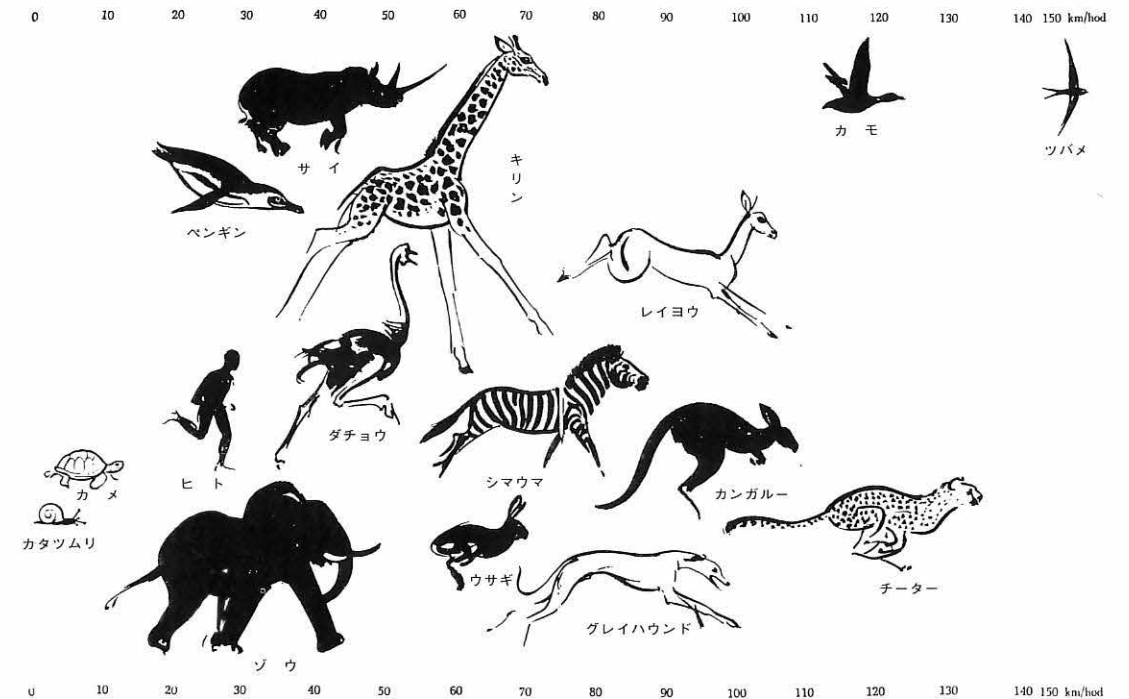
☆ **オオカミの糞** 万葉集に、オオカミの糞をのろしに使ったという記述があるとかで、さる大学の学生が、その真偽をたしかめたいのでぜひもらえないかということであった。乾燥してもやしたらどんな煙がたったのか、その後の話は聞いていない。

☆ **トラのヒゲ** トラのヒゲが落ちていたらくださいといわれたことがあった。歯痛の妙薬になるのだそうで、ヒゲで歯の激痛がなおれば、歯医者が困るだろうと思った。トラのヒゲなどおいそれとは落ちていないので、ていちょうにお断り申し上げたものだ。

☆ **ツルの羽根** ツルの羽根がテンカンの発作にいいからというのがあったが、はたしてテンカンが治ったのかどうか。その他、大きな鳥の羽根は、運動会の仮装用とか、飾りものにしたいというのが多いが、こんなたぐいの話はみなお断りしている。

（飼育課 樽本 勲）

動物のスピード比べ



主な動物の最高速度を比較してみました。動物がいっしょにレースを争うことを想定し、一線からスタートをさせて見て、疾走時の最高速度を表わした。但し水中で疾走する動物は除外しました。（時速換算）

天王寺のどうぶつたち (7)

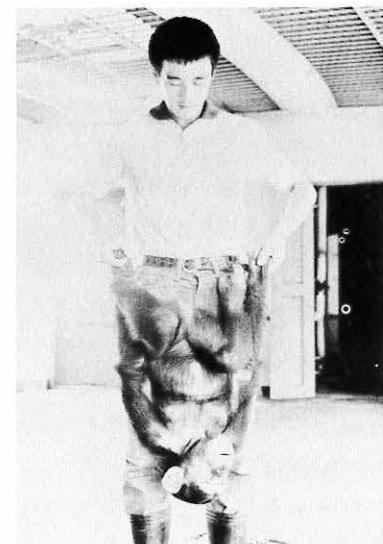
チンパンジー

先々月号ではシュジーを、先月号ではキャンディーをとりあげましたが、今回はサクラに登場してもらって「チンパンジー」のシリーズの最終回にしたいと思います。

サクラは昭和48年3月25日に天王寺に来ました。この時、大体1才位でしたから今月でちょうど4才位です。これは人にたとえると小学生位になります。サクラはメスですが、ぜんぜん女の子らしくなくて、とても活発です。いつも世話をしてくれる青野さんとレスリングをしたりスモウをとったりするのが大好きです。

さてサクラの一日の暮らしをお話ししましょう。まず朝。

サクラはとっても早起きです。朝の太陽が出るのと同時に起き出します。ですから、今のような夏だと起きるのは5時ごろです。夏休みに入って毎日ねぼぼうしている人達は少しサクラをみならわなければいけませんね。青野さんが来てくれる9時まで、サクラはとなりのオリのヨーコねえさんと遊んだり、1人で鉄棒やロープを使って遊びます。アフリカの森



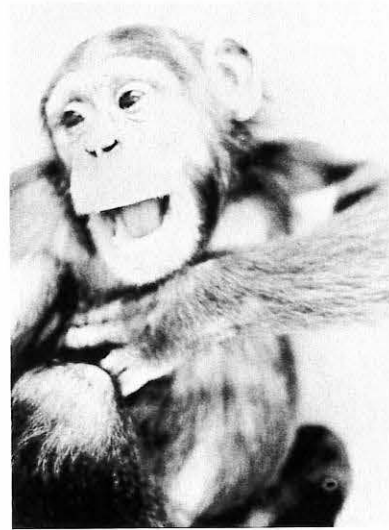
①活発なサクラはこんな遊びも大好きです。

の中で生れたサクラは部屋のてんじょうにある鉄のコオシをロクボクのように使って遊びます。また、コオシから床まで下っているロープをうまく使ってターザンごっこもできます。サクラはまるで森の

ターザンのように身軽です。

9時になると青野さんが来てくれて、まず朝食です。朝食のメニューはこうです。

ヨーグルト	1コ
バナナ	半分
パン	半食



②くすぐられて笑うサクラクスグッタイヨー!!

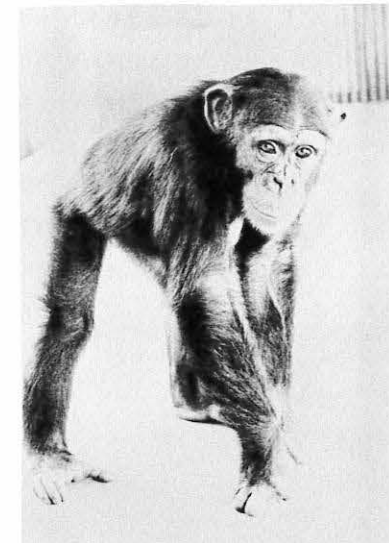
サクラは卵がきらいですが、それ以外のものでも青野さんの食べるものなら何でも食べます。これは青野さんをお母さんのように思っているからで、「お母さんの食

べるものなら私も食べられる」と思っているのでしょう。だから他の人がいくらサクラの目の前で何かを食べていてそれをサクラにあげても、サクラは決してそれを食べません。また、サクラはとくに甘いものが大好きです。でも青野さんは決してチョコレートやキャンディーなどをサクラに食べさせたりしません。これは虫菌を防ぐためです。何も虫菌は人間の専売特許ではありません。

朝食が終ると今度は体をふいてもらいます。青野さんはバケツにお湯を入れて、それでサクラの体のすみからすみまできれいにふいてあげます。これはサクラも大好きでいつもふかれるままに気持よさそうにじっとしています。

昼から青野さんが他に仕事がない時はサクラは遊んでもらえます。遊びはいつもレスリングやスモウ

です。また、このごろのようにとても暑い時は、レスリングのかわりに水遊びをします。一般に類人猿は水がきらいです。水の中に入ることをとてもいやがります。また泳ぐこともできません。水の深みに落ちたチンパンジーがおぼれて死んだ例もある位です。しかし、サクラのように小さな頃から人に飼われているものでは泳ぐことはできないかもしれませ



③これがチンパンジーの普通の歩き方。手のつき方と足の親指の開き方に注目して下さい。

のです。夕食のメニューは

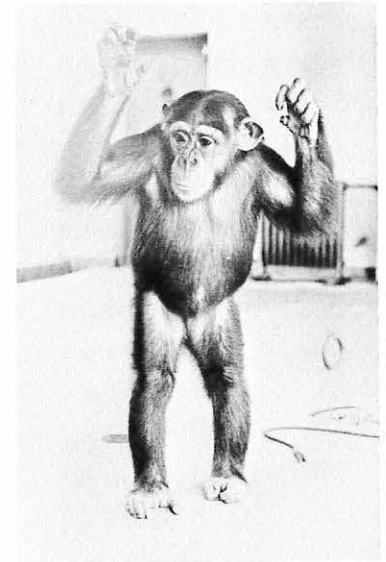
パン	半食
リンゴ	1コ
バナナ	1本

それにダイコンの葉、ニンジン、サツマイモ、ムシイモ、タマネギなどを少しです。これらはみな生です。時々ソーセージ、チーズ、野菜のスープ、乾ブドウ、時には即席ラーメンなどもメニューにあがります。

夕食がすむと青野さんも夕方のそうじでいそがしくなるのでまた一人あそびです。そして5時になると一日の仕事を終えた青野さんは家に帰ります。サクラが天王寺に来てすぐのころは1人にされるのを

んが、水をこわがったりはしません。むしろ暑い時の水遊びはサクラの一番好きな遊びのひとつです。

水遊びが終ると3時半ごろから少し早い夕食です。サクラは一日二食主義な



④サクラは立って二本足で歩くことも出きます。でも足のかけ方は③の写真と同じですね。

ウトウトしはじめます。だから6時から7時になるともうグッスリねてしまいます。青野さんの話しによるとサクラはよくいびきをかいて、ねがえりをうったりもするそうです。こんなところも人間そっくりですね。サクラはどんな夢を見るのでしょうか。

これがサクラの一日です。まだ暑い日が続きますが、アフリカ生れのサクラは夏バテもせず、ますます元気です。

(飼育課 長瀬 健二郎)



⑤水遊びの大好きなサクラ。イーキモチダナー

ヲ
チ
一
ら
い
こ
オ
す
く
野
の
ま
と
と
ぼ
け
ラ
人

獣医室から ③

◎入園したマレーバクの検査

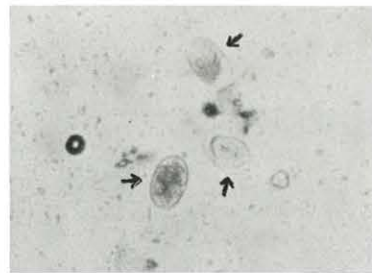
7月15日、当園では戦後初めてのマレーバクが入
つて来ました。非常に貴重な動物だけに大変気をつ
かいます。このバクは1才半ほどのオスで非常に人
なつっこく、さかんに甘えてきます。甘えられるの



はいいのですが、じ
ゃれているつもりか、
時々かみつきます。
一応入園時に病気の
有無などを検査する
のですが、こちらが
ゆだんしてちょっと
後を向いたすきに、
ずっと近寄って足を
かむわけです。その
痛いなの、バク
にしてみれば手かげ

んしてかんでいるのでしょうか、バクの皮ふの厚さ
に比べ我々人間の皮ふはきわめてデリケートにでき
ているせいか、かまれたところはすぐ青あざになっ
てしまいます。早くこのクセをなおしたいものです。
今のところ食欲、排便共すこぶる順調ですが、寄生
虫検査の結果、かなりの高率で寄生虫の虫卵が検出

され、すぐ駆
虫を実施しま
した。寄生虫
は円虫の一種
と思われます
が、現在同定
中です。今後、
検尿、細菌検
査など実施していく予定です。



マレーバクの寄生虫卵(顕微鏡写真)

◎惜しかったハナシカの双仔

6月28日、2頭のハナシカが急に産気づき、まも
なく1頭は無事に出産したのですが、もう1頭の方
は難産らしく前足らしいものが出たところどまっ
てしまい、待てどくらせどなかなか分娩しません。

その内母親の方がばててしまったのか、すわりこん
でしまいました。係員が近付いても立ちあがれない
ありさまです。係員が近寄って見てみると、前足と
一緒に後足も2本出ています。正常分娩では前足か
ら頭という順にうつ向きの状態が出てくるもので
ところが前後の足が一緒に出て来るといのは想像
もつかないことです。時々逆仔をいうのがありますが、
これは後足から出てくるものです。とにかく前
後の足が出てるとなれば、これは非常な難産でもう
放っておくわけにはいきません。幸い母親がすわり
こんで動けないようなので、係員が出ている前足を
引っぱってみますと、わりとスムーズに出て来まし
た。ところが出ていた後足はその前足の仔のもの
とは別ものでした。つまり双仔が1頭は前足からの正
常分娩で、1頭は後足からの逆仔で、しかも一緒に
産道に出てきたために、どちらもつまってしまった
ようです。ひっぱり出した仔はどちらも惜しいこと
にすでに死亡していました。



難産のためすわりこんだハナシカ

牛などでも100例中2、3例位に双仔がみられま
すが、その場合やはり1頭は正常分娩で1頭は逆仔
で生まれるのが多いようで、ほとんどが無事です。
そうしてみますとこのハナシカの場合でも、どち
らか1頭がもう少し早く、別の1頭がもう少し遅けれ
ば、せまい産道でひしめきあわずにうまく出産でき
たでしょうに、惜しいことをしました。お互いの譲
りあう心というのは、こういうこともさすのかもし
れませんか。(飼育課 宮下 実)

夢が広がるショッピング…… 近鉄がお届けします



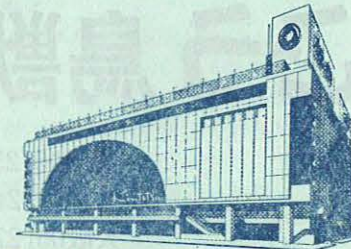
上本町近鉄 TEL.(06)779-1231



アベノ近鉄 TEL.(06)624-1111



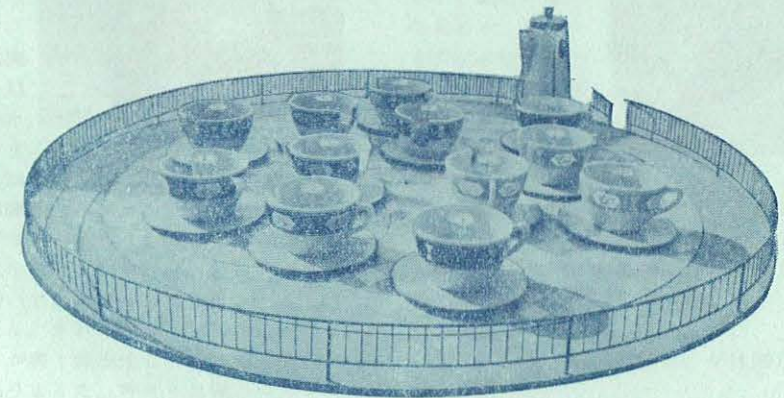
奈良近鉄 TEL.(0742)33-1111



東京近鉄



遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娛樂 株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

世界の猫、小鳥と愛玩動物専門店

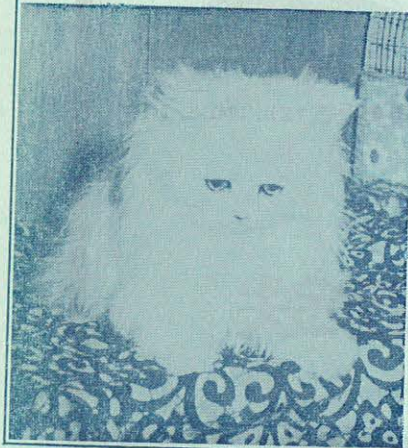
はく製製造卸・直輸入動物取扱い店
各国、犬種・シャム猫・ペルシヤ猫

大阪市南区心齋橋1丁目38

⊗ そごう 鳥獣部

そごう百貨店屋上 直通TEL

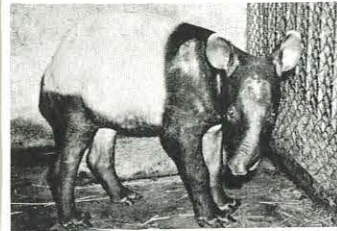
大阪06(252)5497
(241)9146
大阪06(271)2221
内線 2554



動物園ニュース

☆マレーバク入園

当園では戦後初めてのマレーバクが1頭入園しました。1才半のオスで、人をまったくこわがらず、



子供らしくさかんにじゃれてきます。前から居るアメリカバクに加えて、これで2種類のバクがそろいました。今のところアメリカバクと一緒に展

示していますので、両種の違いがよく比較できます。

☆フラミンゴ7羽誕生ノ

6、7月号でフラミンゴが4羽誕生したことをお知らせしましたが、さらに3羽ふ化して計7羽になりました。1シーズンで7羽も誕生したのは当園でも初めてのことで、全国の動物園でも珍しい記録と思われます。

フラミンゴ産卵ふ化記録(1975)

- | | | | |
|---|------------|---------|--------|
| 1 | キューバ×キューバ | 4,20産卵、 | 5,18ふ化 |
| 2 | キューバ×ヨーロッパ | 4,22産卵、 | 5,21ふ化 |
| 3 | キューバ×キューバ | 4,27産卵、 | 5,27ふ化 |
| 4 | ヨーロッパ×キューバ | 5,9産卵、 | 6,5ふ化 |
| 5 | キューバ×キューバ | 5,28産卵、 | 6,26ふ化 |
| 6 | キューバ×キューバ | 5,31産卵、 | 6,28ふ化 |
| 7 | チリー×チリー | 6,2産卵、 | 6,30ふ化 |

その他無精卵、破卵などが5卵ありました。

☆アシカの赤ちゃん3頭誕生!!

6月9日、14日にアシカが各1頭生まれたことはお知らせしましたが、6月22日にも1頭誕生して計3頭になりました。いつも一緒に泳ぎまわって楽しそうにじゃれあっています。

7月15日に体重測定をしましたが、11kg、10kg、9.5kgと順調な成育ぶりです。昨年生まれた仔も一緒に測りましたが、これは24kgありました。



☆カモシカ園の出産ラッシュノ

スプリングボックも誕生!!

カモシカ園ではエランド、ブラックバックが各1頭生まれたのに続いて、エゾシカが4頭、ハナシカが5頭誕生しました。それに続いて7月5、6日にスプリングボックが各1頭誕生し、カモシカ園はげんにぎやかになりました。昨年も2頭スプリングボックが誕生しており、2年連続各2頭のおめでたです。

☆アグーチ出産

昨年も2頭アグーチが誕生していますが、今年も又、6月24日に2頭誕生しました。2頭共順調に育っており、今がかわいいさかりです。

☆寄付動物

リスザル1頭とミヤマカンムリマタカの寄付がありました。リスザルはオスで前から居るメスと早速一緒にしました。

(表紙参照)ミヤマカンムリマタカは台湾産の珍しいクマタカです。

☆カバの赤ちゃん屋外へ初放飼

3月28日に生まれたカバの赤ちゃんは、ずっと母親と一緒に室内プールで飼育していましたが、6月29日初めて屋外へ放飼し



ました。おそろのおそろ母親の後に付いて出て来ましたが、物音がしたとたん、すばやく母親と共にプールにどぶん!外の景色をながめ

る暇もありませんでした。

☆キーウイ来園満5周年を迎える

1970年の万国博の際、ニュージーランド政府から寄贈を受けたキーウイが今年の7月2日で満5周年を迎えました。メスの方は真菌症でまもなく死亡したのですが、オスはすこぶる健康で、飼育年数を更新中です。最近の暑さのためか、餌のミミズが不足気味ですが、係員の努力でどうにか確保しているのが現状です。



☆サマースクール開講

8月1日~3日の間動物園と自然史博物館の共催でサマースクールを実施しますが、7月22日応募をしめ切りました。応募総数は336人で、その内抽選で30名が参加します。

◎お知らせ

8月は18日(才三月曜日)が休園日です。

◎おわび

7月7日にヒョウが脱走するという騒動をおこし市民の皆様始め関係各位に多大の御心配並びに御迷惑おかけしたことをおわびします。今後二度というこのことの起らないよう管理体制を強化していきます。

なきごえ 昭和50年8月15日発行 (毎月1回15日発行) 第11巻第8号(通巻121号)

編集/大阪市天王寺動物園

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

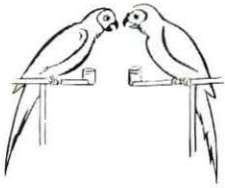
電話 大阪 (06)771-0201

印刷所/株式会社 松村善進堂

定価100円(送料共)

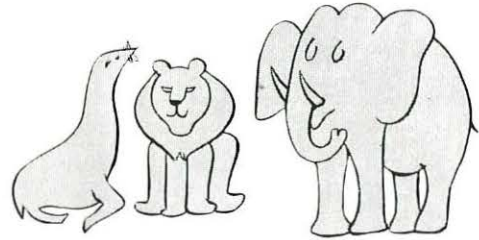
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地

電話(078)221-8195・221-1517
電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各140cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

小谷 潔・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・中川 道朗・農本 武志
深井 和美・東 政宏・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・児玉 敏雄